

地域貢献活動について

地域貢献活動とは、地域に密着して行う「社会貢献活動」をいう（ウィキペディアより）。身体障害者療護施設（現・障害者支援施設）の開設以来、地域福祉への貢献を目標の一つに掲げてきました。地域貢献活動は、本来の身体障害者療護施設の運営を阻害するものではありません。社会福祉事業を生業とする社会福祉法人にとって、本来事業と地域貢献活動は、車の両輪関係と言えるものです。令和元年度も継続している地域貢献活動の事例を分野別にまとめた。

分 野	活 動	活動内容
教育	福祉ワークキャンプの受入れ	平成元年、第1回「福祉協力校ワークキャンプ」（2泊3日）受入れ。同年、木造町高校生ワークキャンプ（2泊3日）受入れを開始。以来、児童生徒の福祉ワークキャンプを毎年積極的に受入れしている。
	実習生の受入れ	昭和59年の青森大学社会福祉学科の学生受入れをはじめに、これまで多数の福祉や介護、看護の実習生を受入れしている。
	学校教育サポーター	子供たちの職場見学やインターシップの受入れ先として登録。
安全 安心	配食サービス	糖尿病の障がい者へ糖尿病食を調理して配達。
	消防協力隊	地域住民による消防協力隊を組織し、支え合う地域防災に取り組んでいる。
	交通安全キャンペーン	第二うちがたの利用者が、地域の人たちとマスコットを配って交通安全の呼びかけキャンペーンに参加している。
景観	ひまわり畑	地域住民とともに内湯療護園の土手や地域4カ所にひまわりを植え、夏になると一面のひまわりが好評。
地域の 活性化	安定雇用の確保	平成29年度より新卒職員を初年度から正職員として採用。また、その他の準職員についてはこれまでどおり正職員に登用する制度を継続して実施している。
	地元企業との取引を重視	同品質であれば、少し高くても地元の商店と取引（一部の食品や燃料等）。
	なたね栽培の推進	地産のなたねを買い付け、搾出して「なたね油」を販売。
	ボランティアの受入れ	開設以来40年間で延べ4万人以上のボランティアを受け入れている。
その他	老人ホーム利用者負担の軽減	特別養護老人ホームきりん館利用者の利用料を軽減する措置を講じている。
	ごみ収集所の場所を提供	第二うちがた駐車場の一角を町内のごみ収集置き場に貸出。
	施設周辺ゴミ拾い	施設近辺のゴミ拾いを利用者とともに実施している。
	地域交流室の開放	ケアホームうるしかわに地域交流を目的とした会議室を設置し貸出している。
	ペットボトルキャップ、アルミ缶の収集	エコ活動をしている団体に協力。ペットボトルキャップやアルミ缶を収集。